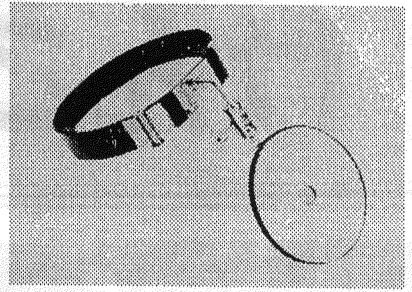


質問箱



Q・耳鳴り、めまいで耳鼻科で突発性難聴といわれました。どんな病気ですか？

A・突然に、めまい、耳鳴り(耳がつまる感じがする)が起こり、嘔気のことともあります。耳鼻科で聴力検査をしてみると、聴力が落ちています。原因については、ウイルスの感染、血流異常、ストレスなどが考えられますが、はっきりしたことはまだ不明です。

治療は病気の程度により入院したり、外来でよかったりいろいろあります。

とにかく早期に治療を開始することが大切です。治療が遅れると難聴やその他の症状を残すことがあります。

おかしいなと感じたらすぐ耳鼻科医を受診して下さい。

院長

知っておきたい薬の知識

オクツ薬局薬剤師 桜木達夫

日本では「患者さん中心の」「きめの細かい」「質の高い」医療の実施が期待されています。患者さん中心の医療とは、病気を治すのは医者ではなくて、患者さん自身です。

「かかりつけの医師」「かかりつけの薬剤師」等の医療関係者の協力のもとで、患者さん自身が積極的に治療に参加していくというものです。

「きめの細かい」「質の高い」医療とは、患者さん一人一人の状況にあつた医療です。同じ高血圧症でも肥満のある人、糖尿病を併発している人、腎機能の低下している人、他に薬を使用しているとかによって治療方法が異なります。お薬の効き方も一人一人異なります。「あなたのためだけの医療です。」

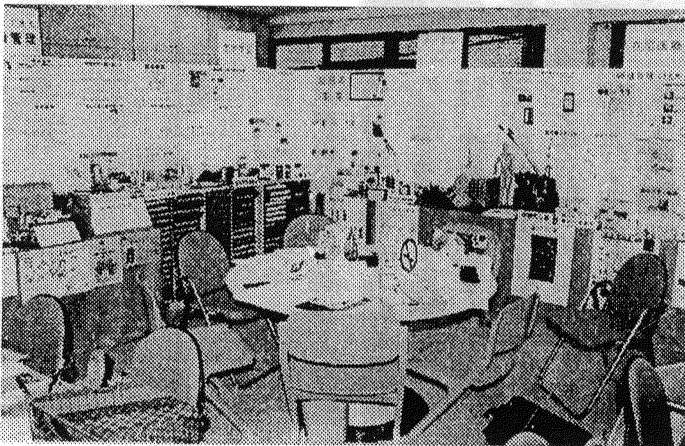


これらの医療を実施していくためには、皆様を知っておかなければならない医療常識・薬の正しい使い方があります。残念ながら日本の学校教育、市民学習の中で「薬の正しい使い方」の話はありません。おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんからの言い伝えや自分の経験から自分なりの医療常識を形づくっています。このような医療常識の中には、首をかしげたくなくなるような、とんでもないものが混じっています。幼児用の水薬を「よく振ってから飲んでください」とお渡ししますが、何を思ったのかお父さんとお母さんが赤ちゃんの手と足を持って振り回してからお薬を飲ませました。想像しただけで楽しくなってしまうですが、赤ちゃんにとってはとんだ災難で

す。お薬を固いアルミの包装のまま飲んでしまう人、坐薬を飲んでしまいう人、服薬方法を間違えて理解している人もいます。おそろく皆さんの中にも、とんでもない間違え常識があるのではと思います。

かかりつけの薬剤師を持ち、何でも聞いて下さい。オクツ薬局では「くすり薬修館」にて、毎月一回程度の薬の学習会を開いています。また、出張学習会もしていますのでご利用下さい。十一月九日、十二月七日の日曜日の二時から四時まで、箱根湯本駅前の駅前さくらぎ薬局で開催しています。

詳細はオクツ薬局におたずねください。



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

☆受付けからのお願い
月初めには必ず保険証を
受け付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。



11月・12月の休診日

(日曜・祭日)

水曜・土曜・第一火曜午後)

12月29日(月)

～1月3日(土)

年末年始